
9. 計画の推進と進捗評価

9.1 評価指標及び目標値

当初計画である佐野市立地適正化計画（令和 3（2021）年 3 月）において、本計画の進捗状況や施策効果の発現状況を客観的かつ定量的に評価するため、評価指標と目標値を設定しました。評価指標は、都市機能誘導、居住誘導、公共交通の 3 分野についてそれぞれ設定しています。人口密度等、長期的観点からの評価が必要な指標の目標年次は、計画期間の最終年となる令和 20（2038）年としています。

これらの目標値は引き続き用いてモニタリングを実施しますが、社会情勢や施策の進捗状況に合わせて適宜見直しを行います。

表 9-1 評価指標及び目標値

	評価指標	基準値	現状値	目標値 (令和 20 (2038) 年)
都市機能分野の指標及び目標値	都市機能誘導区域内の誘導施設の立地割合 (各拠点に立地している誘導施設の種類の数÷各拠点に位置づけた誘導施設の種類の数)	【令和 2 (2020) 年】 23 / 28 種類 82.1 %/100%	【令和 7 (2025) 年】 23 / 28 種類 82.1 %/100%	基準年と変わらず 28 / 28 種類 100 %/100 %
	都市機能誘導区域内の地価公示価格の平均値	【令和 2 (2020) 年】 42,750 円	【令和 7 (2025) 年】 40,400 円	基準年を下回る 基準年の地価公示価格の平均値以上
	市政アンケートにおける都市機能の利便性評価 (市政アンケート(都市核の利便性)における、そう思う+どちらかと言えばそう思うの合計)	【令和元(2019)年】 佐野駅周辺: 52.7 % 田沼駅周辺: 10.2 % 葛生駅周辺: 7.6 %	【令和 6 (2024) 年】 佐野駅周辺: 48.6 % 田沼駅周辺: 8.7 % 葛生駅周辺: 6.4 %	基準年を下回る 佐野駅周辺: 60 % 田沼駅周辺: 15 % 葛生駅周辺: 15 %
居住分野の指標及び目標値	空き家バンクの活用件数	【令和元(2019)年】 累計 31 件	【令和 6 (2024) 年】 累計 130 件	目標どおり推移 累計 300 件
	居住誘導区域の人口密度	【平成 27 (2015) 年】 36.8 人/ha	【令和 2 (2020) 年】 36.0 人/ha	基準年を下回る 36.8 人/ha
	居住誘導区域の人口割合 (総人口に占める割合)	【平成 27 (2015) 年】 37.9 %	【令和 2 (2020) 年】 37.8 %	基準年を下回る 45.2 %
	居住誘導区域内の地価公示価格の平均値	【令和 2 (2020) 年】 34,195 円	【令和 7 (2025) 年】 33,125 円	基準年を下回る 基準年の地価公示価格の平均値以上
	市政アンケート(佐野市(お住まいの地域)の住みやすさ)における、そう思う+どちらかと言えばそう思うの合計※1	【令和元(2019)年】 79.6 %	【令和 6 (2024) 年】 81.8 %	目標どおり推移 85 %
公共交通分野の指標及び目標値	東武鉄道佐野駅、田沼駅、葛生駅の乗降客数	【令和元(2019)年】 1,926,105 人/年	【令和 6 (2024) 年】 1,758,199 人/年	基準年を下回る 1,979,600 人/年
	市内の路線バスの利用客数 (第 2 次佐野市地域公共交通計画の評価指標) ※1	【令和元(2019)年】 279,616 人/年	【令和 6 (2024) 年】 238,089 人/年	基準年を下回る 239,300 人/年

本計画の上位計画において同じ指標により目標値を設定した場合は、上位計画との整合を図る。

※1 令和 2 年から路線バスの利用客数にデマンド交通分を含まなくなったため、基準値等を変更した。
当初計画では、基準値 308,003 人/年【令和元(2019)年】、目標値 321,500 人/年【令和 20 (2038) 年】

防災指針の進捗状況や効果の発現状況を客観的、定量的に評価するため、評価指標及び目標値を設定します。評価指標は、本計画の施策・事業の実施により発生する効果・成果を表すアウトカム指標と、施策・事業の実施状況を表すアウトプット指標の観点から設定し、定期的な評価・進捗管理を行うものとします。

防災指針の目標についても、第9章に示すPDCAサイクルに基づき、計画の進捗管理を行います。

表 9-2 評価指標及び目標値

評価指標	基準値	現状値		目標値 ^{※1} 【令和20(2038)年】
日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ^{※2}	【令和3(2021)年】 43.7%	【令和6(2024)年】 42.2%	基準年を下回る	60.7%
居住誘導区域外のハザードエリア内の人口／居住誘導区域内の人口 ^{※3}	【平成27(2015)年 ^{※4} 】 27.0%	【令和2(2020)年】 24.4%	目標どおり推移	19.3%以下
雨水幹線排水路の整備率 ^{※5}	【令和3(2021)年】 61.4%	【令和6(2024)年】 63.6%	目標どおり推移	72.6%
住宅の耐震化率 ^{※6}	【令和3(2021)年】 84%	【令和7(2025)年】 91%	目標どおり推移	96%以上

- ※1 目標値については、本計画の上位計画において同じ指標により目標値を設定した場合は、上位計画との整合を図る。
- ※2 令和3年度市政に関するアンケート調査(日頃から災害に対する備えをしている)結果より。「3日分程度の食料・飲料水等を備蓄している」「家具等の転倒防止策をしている」「避難所を知っている」「避難指示等の災害情報の入手先(防災行政無線、佐野市防災・気象情報メール等)を知っている」の4項目が含まれる。居住誘導区域にかかる地区(佐野、植野、界、犬伏、堀米、田沼南部、田沼、葛生)の居住者が、アンケートにおいて、各項目で「はい」と回答した割合の平均値により算出。
- ※3 基準値等の算出については人口メッシュ250mの算出とした。当初計画では、居住誘導区域内外の人口を人口メッシュ100mで算出しており、基準値22.7%、目標値14.2%
- ※4 令和3(2021)年3月策定の立地適正化計画の目標値の基準年との整合を図るため、平成27(2015)年を基準年としている。
- ※5 佐野市国土強靱化地域計画重要業績指標(KPI)令和8年～令和11年より令和20(2038)年を試算。整備済延長/計画総延長により算出。当初計画では、目標値69.3%
- ※6 佐野市建築物耐震改修促進計画(四期計画)令和8年度～令和12年度より。耐震化をしている住宅の戸数/市内全戸数により算出。当初計画では、目標値95%以上

9.2 計画の進行管理

本計画は PDCA サイクルに基づき計画の進行管理を行います。概ね 5 年ごとに、本計画で掲げた施策等の実施状況について検証するとともに、設定した評価指標や目標値等による進捗状況を評価します。また、その結果等を踏まえ、誘導施策の更新等、必要に応じて計画の見直しを行います。

本計画は長期的な計画となるため、柔軟に対応し、その推進に努めていきます。

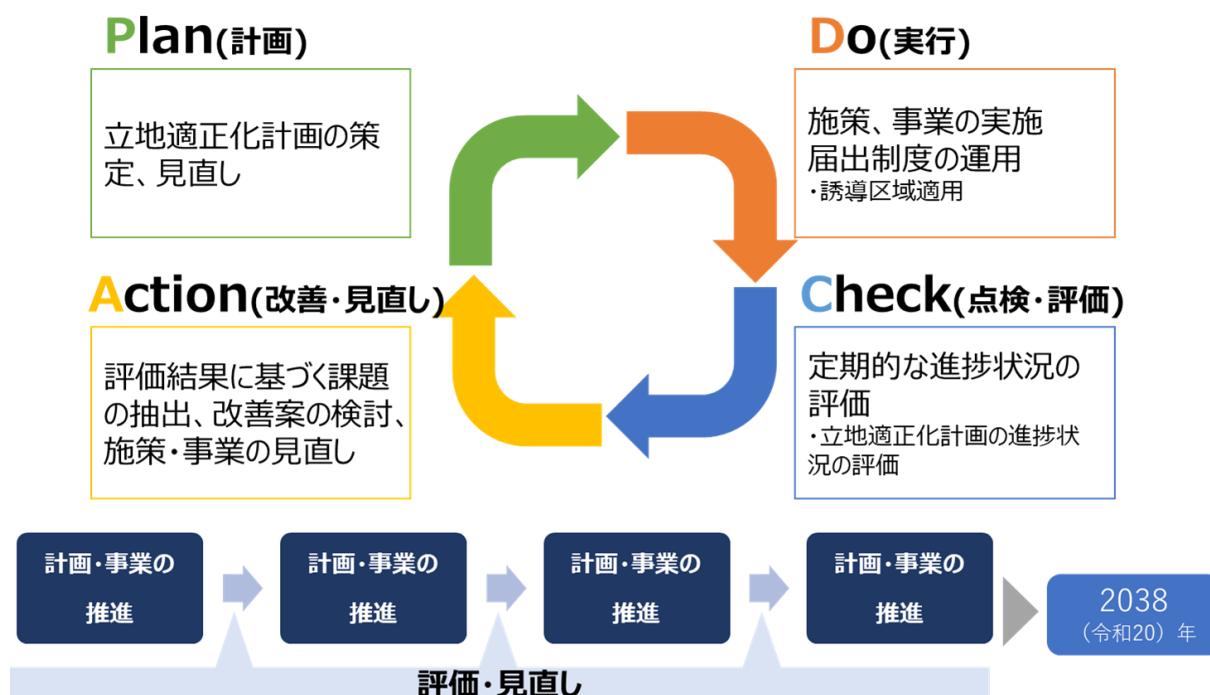


図 9-1 PDCA サイクルに基づく進行管理